



令和6年度 水源林ツアー各回の詳細



第1回・第2回 多摩川源流の森へ行こう！～涼やかな森をハイキング～

内容 水道水源林のブナの森を散策しながら、水と森との関わりなどをご紹介します。
散策時間：約3時間30分（昼食時間含む）

開催日 第1回 8月17日（土）
第2回 8月20日（火）※

集合 JR青梅線 河辺駅 午前8時00分
現地までバスでご案内します（片道約2時間10分）

場所 水源地ふれあいのみち 柳沢峠ゾーン
約4.3kmの未舗装の登山道ですが、なだらかで
歩きやすい道です

解散 JR青梅線 河辺駅 午後5時30分
解散時間は、多少前後する場合があります

定員 各回40名（1組4名まで）



第3回～第6回 秋の奥多摩湖を歩こう！～森とダムと水のつながり～

内容 奥多摩湖（小河内貯水池）とその周辺の水道水源林を散策し、紅葉を楽しみながら、
水と森の関わりなどをご紹介します。散策時間：約3時間45分（昼食時間含む）

開催日 第3回 11月9日（土）※
第4回 11月10日（日）※
第5回 11月14日（木）
第6回 11月16日（土）

集合 奥多摩 水と緑のふれあい館 入口前広場
午前10時00分
奥多摩 水と緑のふれあい館は、JR青梅線 奥多摩駅から
バス15分 「奥多摩湖」バス停下車すぐ

場所 水源地ふれあいのみち 小河内ゾーン
及び 小河内ダム堤体周辺
ふれあいのみちは約3.1kmのハイキングコースです。
多少急な坂もありますが、スニーカー等歩きやすい靴なら
小学生でも歩ける場所です。ダム堤体周辺は約1.5kmです。

解散 奥多摩 水と緑のふれあい館 入口前広場
午後3時30分
（解散時間は、多少前後する場合があります。）

定員 各回30名（1組4名まで）

対象 都営水道の給水区域にお住まいの小学生以上の方。
または、1年以内に「東京水道 水源林寄附金」にご賛同いただいた小学生以上の方。
いずれも小・中学生は要保護者同伴。
※第2回～第4回は、中学生までのお子様と
その保護者の方のお申込みを優先させていただきます。

東京水道 水源林寄附金については
こちらをご覧ください。



【各回の実施位置図】



水道水源林における水道局の取組

東京都水道局（以下、当局）では、多摩川の安定した河川流量の確保と小河内貯水池（奥多摩湖）の保全を図るため、多摩川の上流域に広がる水道水源林を120年以上にわたって管理しています。

これからも次世代へ緑豊かな水道水源林を引き継いでいくために、当局では水源地保全の重要性に対する理解促進と水道水源林における魅力発信を進めており、この取組の1つとして、実際に現地を訪れ水道水源林の魅力を知っていただく水道水源林ツアーを実施しています。

1. 水道水源林の概要

当局が所有・管理する水道水源林は、東京都の奥多摩町、山梨県の小菅村、丹波山村及び甲州市に位置し、その面積は東京都23区のおよそ41%にあたる約25,000haです（令和6年4月現在）。

水道水源林は、多摩川上流域の荒廃を憂いた東京府が、明治34年（1901年）に御料林※を譲り受け、自ら管理を開始したことがその始まりです。※御料林 皇室で管理していた森林



2. 水道水源林の管理

水道水源林には、水をたくわえる水源かん養機能や土砂流出防止機能をはじめ、様々な機能があります。当局では、これらの機能を十分に発揮できるよう、水道水源林の育成・管理を目的として森林の状況に合わせた手入れを行っています。また、自然災害の予防や崩壊地の復旧を図るとともに、効率的な森林の管理を行うため林道などを整備し、管理しています。



（左）森林の手入れ
（右）崩壊地の復旧

3. 水道水源林における当局の取組

当局では、将来にわたって水道水源林を守り育てていくために、令和3年3月に「みんなでつくる水源の森実施計画2021」を策定しました。

この計画には3つの柱として、「都民の理解を促進する取組」、「多摩川上流域における民有林の保全・管理」、「多様な主体と連携した森づくり」があります。このうち「多様な主体と連携した森づくり」では、水源林ツアーの実施をはじめ、都民や企業など多様な主体との連携による水源の森づくりへの参加者拡大を目指しています。詳細は下記URLをご参照ください。

<https://www.mizufuru.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/document/keikaku02/>

4. 水道水源林ポータルサイトみずふる

水道水源林の魅力を発信し、都民とのコミュニケーションを図るため、「水道水源林ポータルサイトみずふる」を運営しています。みずふるでは、この度の水源林ツアー申込みをはじめ、水道水源林の豊かな自然を身近に感じることができる散策路「水源池ふれあいのみち」などの紹介を行っています。

また、水源地への来訪が難しい方にも気軽に関心を持っていただくため、動画配信などにより水源地の魅力や重要性をお伝えしています。



水道水源林ポータルサイト



みずふる